

答案用紙は 4 枚あります。大問ごとに指定された用紙を使ってください。すべてに学籍番号と名前を記入してください。裏面使用の場合は、裏面の右上にも名前を書いてください。要点が押さえられていれば、必ずしも全ての計算過程を書く必要はありません。計算用紙 1 枚は提出不要です。

ベクトルの成分表示は縦、横のどちらで書いても差し支えない。 $\mathbb{R}^n$  の通常の内積を  $u \cdot v$  で表すものとする。特に断らなければ、考えている閉曲線の周期を  $T$  で表す。

1. (1)  $\mathbb{R}^3$  のベクトル  $u = \begin{pmatrix} 1 \\ -3 \\ -2 \end{pmatrix}$ ,  $v = \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}$ ,  $w = \begin{pmatrix} 0 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}$  に対し,  $u \times v$  を計算せよ。また,  $u, v, w$  を三辺とする平行六面体の体積を計算せよ。
- (2)  $\mathbb{R}^2$  上の関数  $f(x, y) = x^2 + y^3$  に対し,  $\text{grad}(f)$  を計算せよ。
- (3)  $\mathbb{R}^2$  上のベクトル場  $V(x, y) = \begin{pmatrix} x^2 - 2xy + 3y^2 \\ x^2 + xy + y^2 \end{pmatrix}$  に対し,  $\text{div} V, \text{rot} V$  を計算せよ。
- (4) 二つの  $C^\infty$  級関数  $g, h: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  に対し, 等式  $\text{grad}(gh) = g \text{grad}(h) + h \text{grad}(g)$  を示せ。
2. (1)  $\mathbb{R}^2$  上の二つのベクトル場  $V(x, y) = \begin{pmatrix} x + y \\ x - y \end{pmatrix}$ ,  $W(x, y) = \begin{pmatrix} x - y \\ x + y \end{pmatrix}$  を考える。  $\text{div} V, \text{rot} V, \text{div} W, \text{rot} W$  を計算せよ。
- (2)  $\text{grad}(f) = V$  となる関数  $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  で,  $f(0) = 0$  をみたすものを求めよ。
- (3) 二つの曲線  $\ell(t) = \begin{pmatrix} \cos t \\ \sin t \end{pmatrix}$ ,  $m(t) = \begin{pmatrix} \cos t \\ -\sin t \end{pmatrix}$  に対し, 線積分  $\int_0^\pi V \cdot d\ell, \int_0^\pi V \cdot dm$  を計算せよ。
- (4)  $\text{grad}(g) = W$  となる関数  $g: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  は存在するか。存在するならばそれの一つ求め、存在しないならばそのことを証明せよ。
3. (1)  $\Omega$  を放物線  $y = x^2$  と直線  $y = x + 2$  で囲まれる領域とする。 $\Omega$  を図示せよ。また、境界  $\partial\Omega$  を表す区分的に正則な閉曲線  $\ell$  で、 $\Omega$  に適合する向きのもを一つ具体的に式で表せ。それが条件をみたすことの証明は省いてよい。
- (2)  $\ell(t)$  において  $\Omega$  の内側から外側に向かう単位法ベクトルを  $n(t)$  とする (定義される点でのみ考える)。ベクトル場  $V(x, y) = \begin{pmatrix} -x^2 + 4xy + y^2 + 2x \\ x^2 + 2xy - 2y^2 - y \end{pmatrix}$  に対し, 線積分  $\int_0^T V \cdot n \, d\ell$  を計算せよ。
- (3) 線積分  $\int_0^T V \cdot d\ell$  を計算せよ。
4. (1)  $L := \left\{ (x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid \frac{x^2}{4} + y^2 = 4 \right\}$ ,  $M := \left\{ (x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid x^2 + \frac{y^2}{4} = \frac{1}{4} \right\}$  とおき,  $L$  と  $M$  で囲まれる領域を  $\Omega$  とおく。 $\Omega$  を図示せよ。
- (2)  $\Omega$  は弧状連結であることを示せ。
- (3)  $L$  を表す正則な閉曲線  $\ell$  で、 $\Omega$  に適合する向きのもを一つ具体的に式で表せ。それが条件をみたすことの証明は省いてよい。
- (4)  $\Omega$  上のベクトル場  $V(x, y) = \frac{1}{x^2 + y^2} \begin{pmatrix} -y \\ x \end{pmatrix}$  に対し,  $\int_0^T V \cdot d\ell$  を計算せよ。
- (5)  $\Omega$  は単連結ではないことを示せ。

配点: 各 25 (1: (3 + 4) + 5 + (4 + 4) + 5 = 25, 2: 5 + 5 + (4 + 4) + 7 = 25, 3: 7 + 8 + 10 = 25, 4: 5 × 5 = 25)